

義務教育学校の設立に向けて① （仮称）上石津学園検討プロジェクト 第一回会議を開催しました。

上石津まちづくり協議会

○（仮称）上石津学園検討プロジェクトが始動

令和三年六月八日（火）、上石津地域での義務教育学校設立に向けたプロジェクト（仮称）上石津学園検討プロジェクト」が動き出しました。

メンバーは総勢二十九名、小中学校五校のPTA代表や保育園保護者代表、各地区のまちづくり協議会、各連合自治会代表が集まり、コロナ感染症対策を施し会議を行いました。

会議では、プロジェクトリーダーに牧田連合自治会長の杉田邦隆さん、サブリーダーには一之瀬地域振興会長の三輪賢司さんを選出しました。リーダーの進行のもと、今後のスケジュールについて

協議。義務教育学校に関する様々な意見を出し合う場として、ワークショップの開催を決定し、各団体からワークショップ参加者を推薦することと決定しました。

また、大垣市教育委員会が開催する「上石津地域の学校のあり方検討委員会」と連携しながら、課題の検討を行っていくことを確認しました。

○義務教育学校についての講話

プロジェクト会議の後段には、義務教育学校についてのメンバーの知見を深めるために、前羽島市立桑原学園校長で、現在は羽島市立中央中学校長の小川和彦先生をお招きし、義務教育学校の実状や利点などについてお話を伺いま

した。

羽島市立桑原学園は、白川村立白川郷学園と同時に平成二十九年四月、岐阜県内初の義務教育学校として開校しました。

小川先生は、初代校長として桑原学園での先進的な教育を推進されました。

講話では、義務教育学校ならではのメリットや児童・生徒の変化、先生の成長など、様々なお話を聞くことができました。メンバーは、新しい学校への期待が高まった様子で、

○義務教育学校ってなに？

学校教育法に基づく小学校から中学校までの教育を一貫して行う学校で、合計9年間の課程を一体化させた学校です。

○上石津地域では、いつ頃開校するのか。

上石津地域の4つの連合自治会と上石津まちづくり協議会は、令和元年9月26日に義務教育学校設立の要望書を、令和2年11月10日に設置場所に関する要望書（現上石津中学校への設置）をそれぞれ、大垣市長と大垣市教育長に提出しました。

大垣市と大垣市教育委員会において検討が重ねられ、令和6年4月に、現上石津中学校の場所に義務教育学校を開校する予定です。



間隔を取って会議を実施（講話）

六月下旬に行われるワークショップに向け意義ある講話となりました。